

## 令和4年度群馬県立高崎東高等学校2学期始業式講話

皆さん、こんにちは。いよいよ、2学期がいよいよ始まりました。皆さんの夏季休業は充実していましたか。立てた目標には到達できましたか、近づきましたか、ぜひ、振り返りチェックしてみてください。

ところで一学期と同様、儀式的行事や気持ちの区切りの話ばかりでは芸が無いので、今回は異なる話をします。テーマは「防災」です。今年の夏も各地で大雨による洪水被害や浸水被害がありました。地球温暖化が原因との指摘もあります。そもそも日本では9月1日を含む今週を「防災週間」とし、月1日を「防災の日」としています。これは1923年に起きた関東大震災と、1959年の「伊勢湾台風」に由来しています。9月から10月にかけては、台風が多く発生します。そして近年は台風の大型化が指摘されるようになりました。「防災の日」をきっかけに、各自治体が作成したハザードマップや避難ルートを確認したり、防災グッズを点検しておきましょう。また、関東大震災の時には、デマによって在日朝鮮人の方々が自警団によって虐殺される事件が起きました。また方言を話す人々が在日朝鮮人の方と間違えられて虐殺された事件も起きています。SNSの普及により、我々はフェイクニュースに触れやすい環境にいることも忘れてはなりません。確かな情報を取捨選択するスキルもこれからの時代、必要になります。

併せて、今回は地名からわかる防災の知識を紹介します。群馬県内で言いますと、まず「草津」をあげることができます。「草津」の語源は「臭い津、くそうづ」、つまり「臭い水が湧き出す所」です。草津温泉の匂いの元は硫化水素( $H_2S$ )で、高濃度だと場合によっては死にいたることもあります。なお硫化水素は湧き出した直後から空气中に逃げだし、濾過や循環・攪拌によっても逃げ出してしまうため、旅館では安心して湯につかることができますが、念のために各旅館では強力な換気扇を風呂場に設けています。しかし過去、草津と同じく硫化水素を含む温泉が出る万座温泉で、登山中の県内の高校生と引率教師が硫化水素ガスによって死亡するという事故が起きました。硫化水素ガスは空気より重く窪地にたまりやすくなります。当日は無風で、前がつかえたため窪地で立ち止まっていた人たちが事故にあわれたそうです。草津や万座でガスが噴き出ているルートを登山する時は常に風向きを意識し、窪地を歩かないなどの対策が必要で、匂いがきつい場合はルートを変更することが求められます。新潟県と秋田県では硫黄泉ではなく、原油成分が湧き出るところに「くそうづ」という地名が残っています。新潟県新発田市の月岡温泉は、湯舟に油成分が浮くことがあります。秋田県ではずばり「くそうづ川」と登場し、こちらも川の水面に油が浮きますし、天然ガスが漂うこともあります。これらの地域では火気の使用に注意が必要です。

この他「阿久津」という地名も防災についての知識を伝えてくれます。「阿久津」とは「悪い津」、つまり過去に洪水が起きやすいことから付けられた地名で、川の合流地点に多く見られます。渋川市には吾妻川と利根川の合流地点、高崎市では鏑川と烏川、の合流地点、太田市では早川と利根川の合流地点に「あくつ」という地名が町名として残っています。阿久津ではありませんが、本校は井野川が蛇行した跡の三日月湖や自然堤防に立地していますので、井野川の氾濫には注意が必要です。「阿久津」のほかにも、例えば「落合」という地名も、川と川が落ち合うところ、つまり合流点を表す地名です。地名に関して、なぜこうゆう地名なのかという疑問を持って調べてみると、意外に多くのことがわかるかも知れません。

群馬県は自然災害が少ないということで、JR東日本やNTTドコモなどの会社は東京の本社機能の一部、特にデータを群馬県に移したり、あるいは今後移すことを計画しています。しかし今まで話した地名からもわかるとおり、過去、群馬県も多くの災害に見舞われています。平安時代には大きな地震があり、液状化現象の跡が赤城山南麓地域で認められます。また浅間山の噴火被害は皆さんも知っているとおりです。特に江戸時代の天明噴火被害はすさまじく、玉村町は利根川の土石流により多くの民家が流され、高崎市のGメ

ッセ群馬あたりでは上流から流れついた人や馬・流木で烏川が一時的せき止められ、大きな湖ができたと伝えられています。

「群馬は安心」という考えは持たず、台風シーズンに備え、通学路の点検、避難場所の確認、万が一の時の家族との連絡方法などを話し合ってみてください。日暮れも早くなります。自転車のライトの点灯、そしてヘルメットの着用をお願いします。ヘルメットの着用は高校生だけでなく、県民全員の努力義務となっていることを忘れないでください。

以上の話をもって、令和4年度2学期始業式の講話とします。

令和4年8月29日

群馬県立高崎東高等学校 校長 関口 俊邦